

令和5年度実施要領別紙8別添5-5 (第3-2関係)

## 畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和5年度）

都道府県名 北海道

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績(円)	うち交付金相当額(円)	
I 畜産GAP指導活動の推進	100名	155	155%	A	7,718,198	2,718,198	
II 畜産GAP等認証の取得拡大	5経営体	5	100%	A	1,044,000	949,092	

## 事業の成果

### ＜畜産GAP指導活動の推進＞

- ・GAP指導の中心的な役割を担う農業改良普及指導員やJA営農指導員を対象に育成した畜産GAP指導員が、農業者のレベルに応じて指導することにより、目標を超える155名の農業者が畜産GAPを実践（「GAPをする」を含む。）することができた。

### ＜畜産GAP等認証の取得拡大＞

- 各地域に配置した畜産GAP指導員等が農業者団体や農業教育機関と連携しながら指導することにより、5経営体（2農業教育機関、3経営体）で認証を取得することができた。

### 都道府県による評価

- 畜産GAP指導員の育成に向けた基礎研修会の開催を通じて、道内の指導体制を構築するとともに、畜産GAP指導員等が、農業者の実践レベルに応じた指導を行うことにより、目標より多くの農業者がGAPを実践（「GAPをする」を含む。）することができた。
  - 各地域のGAP指導員が積極的に指導等を実施することにより、2農業教育機関、3経営体の5経営体で認証を取得することができた。

## 国による評価

- ・ I 畜産GAP指導活動の推進において、畜産GAPを実践する農業者の数は目標値100名に対し実績は155名となっており、目標を達成している。また、令和5年度は畜産GAP指導員基礎研修（畜産）により28名の畜産GAP指導員を育成し、年度末現在の北海道指導員数は118名となったほか、JGAP家畜・畜産物団体認証研修により14名の内部監査員を育成し、年度末現在の内部監査員数は38名となっており、GAPの指導体制についても着実に構築されつつある。
  - ・ II 畜産GAP等認証の取得拡大において、目標値5経営体（1パイロット経営体、2農業教育機関及び2新規追加経営体（1団体認証経営体））に対し、実績は5経営体と目標を達成しているものの、内訳は、2農業教育機関と団体認証経営体外の3新規経営体であった。

かったことが取得できなかったことが主因となっている。

以上のことから、目標値に対しては100%以上の実績となり、目標は達成されたと判断する。しかしながら、当初の目的であった重点地域におけるパイロット経営体、既に認証取得している団体の構成農場の追加取得などの課題は残るが、研修会や現地指導により、畜産GAPを実践する農家は増加しており、今後も畜産GAPの認証取得経営体が着実に増加することが期待される。